

～IMF は世界経済見通しを上方修正 2021年の世界経済の成長率は+6.0%の見通し～

◆ 概要

IMF（国際通貨基金）は4月6日に発表した世界経済見通しで、2021年の世界全体の実質 GDP（国内総生産）成長率見通しを6.0%とし、2021年1月に示した数値から0.5%上方修正しました。2022年の成長率についても4.4%と0.2%上方修正しました。

その背景として、3月に成立した米国の1.9兆ドル規模の追加経済対策などが経済回復を後押しするとともに、各国で進むワクチン接種の効果による景気回復が2021年後半に期待されることなどを反映したとしました。

国別では、米国の2021年の成長率が6.4%と前回よりも大幅に上方修正され、米国と中国の経済回復が顕著となる見通しであることが明らかとなりました。一方、感染状況やワクチン普及のペース、財政支援の規模の違いなどにより各国間で経済回復に差が生じており、その差が拡大しつつあると指摘しました。

加えて、新型コロナウイルスの変異種によって感染拡大が長期化する恐れがあるなど、今回の見通しには高い不確実性が伴い、下振れリスクも上振れリスクも潜在的に数多くあるとの認識を示しました。

◆ IMF 世界経済見通し 2021年4月時点

	2020年	IMF見通し			
		2021年	前回比	2022年	前回比
世界	-3.3%	6.0%	0.5%	4.4%	0.2%
先進国	-4.7%	5.1%	0.8%	3.6%	0.5%
米国	-3.5%	6.4%	1.3%	3.5%	1.0%
日本	-4.8%	3.3%	0.2%	2.5%	0.1%
ユーロ圏	-6.6%	4.4%	0.2%	3.8%	0.2%
新興国	-2.2%	6.7%	0.4%	5.0%	0.0%
中国	2.3%	8.4%	0.3%	5.6%	0.0%

（出所）IMF のデータをもとにJP投信株式会社作成

以上

【ご留意事項】

- 当資料は、JP投信が投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申し込みの際は、最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

JP投信

商号:JP投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2879号
加入協会:一般社団法人投資信託協会

- 当資料は、JP投信が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではなく、証券取引の勧誘を目的としたものでもありません。